



長谷・衣塚 (撮影：小林会員)

令和5年5月号 Vol. 229

(2023年)

発行：令和5年5月5日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

《玉川ジグザグ散歩》

行事区分：会員研修 (ハイキング)

日時：4月3日(月) 9:30~13:30

場所：依胡田~柳橋~小野神社~聞修寺

参加者：会員9名

前日の曇天とはうって変わって好天に恵まれました。まずは最初の見学ポイント大だぬきを目指して依胡田を出発。出発してすぐリスの像があり、「これが大だぬきじゃないか。」と写真を撮ったり、みんなでわいわいがやがや。会員同士和気あいあいの気楽な散歩です。

少し行くと陶芸教室のお屋敷の塀の中から巨大な大だぬきが姿を現しています。リーダーが大だぬきの秘話を披露してくれましたが、秘話なので残念ですがこれは秘すことにします。まんさく、モクレン、石楠花(しゃくなげ)など通り沿いの家々の庭木がきれいに咲きそろう。

桜もまだ盛りで桜吹雪が風情を添えます。次のポイントの市内で唯一公民館との合築校舎である愛甲小学校に向かって歩く途中、「みたど」の道標と阿弥陀堂を発見。Sさんが皆を呼び止め、「あみだどう」が「みたど」になったなど由来を説明してくれました。

柳橋を渡る。橋からの大山が美しい。この日は4回玉川を渡ることとなります。まさにジグザグ散歩です。愛甲小を経て、宝積寺で愛甲三郎の伝承のある五輪塔にお参りし、明神池跡で休憩の後、堰神社へ。堰神社鳥居前は桜吹雪で気分も華やぎます。Mさんが、鳥居前の向かって右側の狛犬が子犬に乳を飲ませているように見えるというので、あらためて見てみると子犬が乳を飲みやすいように狛犬が左前脚を少し上げて乳を飲ませているように見えます。旱魃から村を救うために自ら人柱になった山伏を祀った堰神社とその衣を埋めた衣塚にお参りし、縁切り橋へ。

ここでは、Tさんが説明を申し出る。2月に行われた観光協会主催の「あつぎ十二支巡り御朱印モニターツアー」で説明ポイントに入っていましたが、時間が遅れていたため、



堰神社鳥居前

立ち寄らず通過してしまい、説明の機会がなかったそうです。愛甲三郎が北条政子に屋敷を焼かれ、北条から心が離れ、和田合戦に至る縁切り橋の由来。以前は婚礼のときはこの橋を渡らず、船で渡った話などが披露されました。モニターツアーのお客様にも聞いていただきたかったですね。

次は小野神社。式内社で古い歴史を感じます。建久5年（1194年）愛甲三郎によって再興されたと伝えられる由緒ある神社で、江戸時代には愛甲姓の武士の参詣が記録されているとのリーダーの説明の後、Tさんからは明治時代に祭神が日本武尊になった経緯の説明がありました。明治維新後、神仏分離や廃仏毀釈の流れの中で日本古来の記紀神話の神に祭神が変わっていくのを感じました。

宮前橋を渡ると正午になり、ここで2名が帰ることとなり、7名で続行。旧玉川の道標へ。旧玉川道標は小町緑地の下にあり、現在の玉川からはかなりの距離がありました。当時は大きく蛇行していたらしい。現在小町緑地の下には集落がありますが、玉川を移すときに現在の玉川近辺の集落を移したものです。

あひるの里を通り、153段の階段を上り龍鳳寺に到着。本堂に上がらせていただき、ご住職のお話を伺いました。本堂の天井の大きな龍の絵は「雪舟十三世長谷川雪嶺」の作で、劣化が心配なので写真で後世に残そうと考えているそうです。本堂には、大正時代護



玉川から大山（1252m）を望む

三和尚が彫った丈六の釈迦誕生仏が安置されていて、その大きさに圧倒されました。誕生仏を祀る寺だけあり、四月の花まつりは賑やかだそうです。本堂を出て、竹藪の奥に進むと土が盛り上がったところに左近塚とよばれる石祠があり、龍鳳寺の開基でもある地頭の墓と伝えられています。古墳の上に墓を作ったようです。ここで先代の住職の奥さんにお会いし、龍鳳寺が広大な地主であったことなどを伺いました。

既に予定終了時間を過ぎていたので、リーダーから聞修寺を割愛し、ここで終了とする提案がありましたが、全員が聞修寺に行きたいと意見が一致。皆気力体力が満ちあふれているようです。聞修寺山門には5種類の家紋が彫られているというので、皆であれが「沢湯」、こっちが「抱き茗荷」だ。などと家紋探しを楽しみました。

これで、散歩は終了です。時間は午後1時半。1時間超過ですが、健脚のKさんは小町神社に行ったことがないので、小町神社経由で高松山を登って帰るといって別れ、残り6人で恒例のファミレスでのランチでお開きとしました。好天に恵まれ、桜をはじめ春の花々を愛で、時間のたつのを忘れる楽しい一日でした。でもお客様が一緒のときは時間管理は忘れずに行います。

（清田邦 記）

《訪問ガイド研修に参加して：横浜金沢風物詩めぐりー1》

行事区分：訪問ガイド研修（かながわガイド協議会）

日 時：4月17日（月）9：30～12：00

場 所：横浜市金沢区

参加者：会員2名

令和5年度かながわガイド協議会の第一回訪問ガイド研修「横濱金沢風物詩めぐり-1」に参加してきました。

当日は快晴に恵まれ、非常に有意義な一日でした。ご存知のとおり、金沢八景は江戸に近くて、海と山に恵まれた地形が有名です。今回のガイドは「家康と金沢」と銘打ってのガイドで、家康が如何に金沢に関わりの多い人物である事が良くわかりました。スタート直後の瀬戸神社での宮司さんの約1時間の講話の中で

- ① 家康が金沢八景にやって来た記録の数々
- ② 江戸城に金沢八景の間があった記録
- ③ 金沢八景に東照宮があったとの記録

について、プロジェクターを使っただけの詳しい説明がありました。

特に慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いに臨む前にこの金沢の称名寺で英気を養っていたと聞き、家康が如何に金沢八景を気にしていたかが伺えます。

次に訪れた龍華寺は貴重な宝物も多く、横浜市指定文化財となっているとの事です。整備された境内には、丁度見事な牡丹が見頃で我々を歓迎してくれました。

最後に訪問した禅林寺には東照大権現(徳川家康)の御神影が祀られており、毎年4月17日の家康公の命日に一般公開されるので、今回丁度参拝する事ができました。

今回の参加者は、13団体32名との事で、我々のグループは男子3名と女子5名の8名でガイドは1名でした。つまりベテランガイド1名による一気通貫ガイドでした。流石に慣れたガイドで資料は提示用の写真のみで、書類を丸読みの場面は全く無し、尚且つガイドフォンを使っただけの説明だったので、大変聞き易かったです。



瀬戸神社の祠

やはり我々の協会でもガイドフォンは採用したいと改めて思いました。敢えて問題点をあげると、昼食場所が決っていたので、瀬戸神社の宮司の講話時間が大幅にオーバーしたため、後行程のペースがかなり速くなり、私にとってはかなりきつかったです。参考に私の携帯の歩行記録は約18,000歩でした。

(山下武敏 記)

《第19回あつぎ観光ボランティアガイド協会通常総会》

行事区分：通常総会

日時：4月19日(水) 13:00~14:30

場所：アミュあつぎ ルーム610

参加者：来賓4名 会員27名

今年は新型コロナも落ち着き市民交流プラザの会議室にて実施することができました。司会者から会員総数35名のうち出席者27名、委任状5名、合計32名が報告され総会が成立する旨を宣言されました。

最初に森島会長より挨拶があり、続いて来賓として厚木市産業振興部観光振興課 大貫課長、矢部主事、厚木市観光協会 加藤専務理事、高橋様の紹介があり、大貫課長と加藤専務理事からご丁寧なお祝いのお言葉を頂きました。

総会議事に入り令和4年度の活動報告、会計及び会計監査報告が有り、続けて各担当から令和5年度の盛り沢山の活動方針、計画の説明がされました。計画の中で今までの問題点も整理され新しい活動が期待されます。



最後に新役員の紹介と挨拶がありました。新会長から会員が少ないので一致団結し発足時の趣旨に沿って歴史・文化・産業を皆で勉強し、厚木の観光に貢献したいとの挨拶がありました。

この後新役員の紹介が有り、この何年か実施できなかった総会後の懇親会の会場に向かいました。

今年は多くの活動ができ、厚木について興味を持ってもらえる人が増えることを期待したいと思います。
(小林 記)

《総会後の懇親会》

行事区分：懇親推進

日 時：4月19日(水) 15:00~17:00

場 所：揚州厨房(イオン8階)

参加者：会員26名

総会後の懇親会はコロナ禍のため毎年開催が見送られ、前回の2019年から4年ぶりの開催となりました。まず総会で選任されたばかりの田頭新会長から「みんなで力を合わせて、楽しく活動をやっていきましょう」と挨拶があり、引き続き森島前会長の発声で乾杯が行われました。中華料理とアルコール



で、和やかに会員相互の交流が進みました。幹事の指名により数名の方が自己紹介や新年度の抱負などを話されましたが、久しぶりに参加された方や、最近入会した会員の話しの時に「あの人は誰ですか」という質問がありました。最後に山下副会長から締め挨拶と一本締めがあり懇親会が無事に終了しました。懇親会の開催により会員相互の親睦を深める事ができ、今後の活動を円滑に行うための一助になったのではと思います。

(澤田 記)

最近の活動

日付	場所	内容	参加者
4月 3日	玉川沿い	会員研修「玉川ジグザグ散歩」	会員 9名
4月 8日	アミューあつぎ	定例会	会員 23名
4月 17日	横浜市金沢区	訪問ガイド研修 「横浜金沢風物詩めぐり-1」	会員 2名
4月 17日	保険福祉センター	総会資料作成	会員 5名
4月 19日	アミューあつぎ	「第19回通常総会」	会員 27名
4月 19日	揚州厨房	総会後の懇親会	会員 26名
4月 30日	相川公民館	編集会議	会員 3名

編集後記

巻頭の写真は長谷の田圃の中にある「衣塚」です。当時この村の旱魃を救うため、玉川の用水堰に身を沈めた山伏の衣を、この下に埋めたという伝説があります。

2023年度第19回通常総会が開催されました。1年間の企画ガイド（歴史探訪、ハイキング）は10件を予定しております。多くのお客様に参加していただき、楽しいガイドにしましょう。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘